

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (補問5-1) 補問5-1 小学校入学前の方がいる場合は、5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった費用を記入してください。 育児にかかった費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、習い事の費用、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが入ります。	質問5-1 育児にかかった費用 小学校入学前の方がいる場合、平成19年5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった金額を記入してください。 育児費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが、イリます。	補問の調査事項名は削除し、 設問を変更する。 記入者がわかりやすいように、 育児にかかった費用の注意書き は枠の外に記載する。
(変更) (補問5-2) 補問5-2 5月中の家計支出総額のうち、別居している親又は子への仕送りの状況をお答えください。 (世送りの目的については、あてはまるすべての番号にをつけてください。 (世送りの目的) 1 仕送りあり 2 仕送りなし 3 別居している親はいない 別居している子がいる 1 仕送りあり 2 仕送りの目的 1 学業 2 その他 「仕送りの目的 1 学業 2 その他 「円	さい。仕送りの目的については、あてはまる番号すべてに をつけてください。 別居 仕送りの有無 仕送りの目的 仕送り額 1 仕送りあり 1 入所・入院費 2 その他 3 別居している親はいない 2 その他 万円 別居 仕送りの有無 仕送りの目的 仕送り額 1 仕送りあり 1 学業	補問の調査事項名は削除し、 設問を変更する。 別居している親(子)がいる場合といない場合の選択肢がわかりやすいように「別居している親がいる」に変更し、該当の選択肢へ矢印で誘導する。 記入者がわかりやすいように事項ごとに枠を分割する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
世帯員の状況		
(変更) (質問1) (質問1 最多所得者 調査日前1年間で所得(年金、仕送り等を含む)が最も多かった方1名の世帯員番号に	世帯員番号 質問1 最多所得者 調査日前1年間で所得(年金、仕送り等を含 (0 1)	本項目が「最多所得者」についての質問であるということを明確にするため、「世帯員番号」の文
をつけてください。	む)が最も多かった方の世帯員番号に をつけてください。	字を各列の番号横に変更し、誤 記入防止のため、設問を変更す る。
(変更) (質問2) (質問2 世帯主との続柄 世帯主の配偶者(夫又は妻)の祖父母・兄弟姉妹はそれぞれ「09祖父母」「10兄弟姉妹」に含めます。兄弟姉妹の配偶者は「10兄弟姉妹」に含めます。「兄弟姉妹の配偶者は「10兄弟姉妹」に含めます。「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。	質問2 世帯主との続柄 世帯主の配偶者(夫又は妻)の祖父母・兄弟 姉妹はそれぞれ「09 祖父母」「10 兄弟姉妹」 に含めます。兄弟姉妹の配偶者は「10 兄弟姉妹」 ないます。兄弟姉妹の配偶者は「10 兄弟姉妹 03 子 09 祖父母 04 子の配偶者 10 兄弟姉妹 05 孫 11 その他の親族 06 孫の配偶者 12 その他(親族以外)	記入者がわかりやすように「配偶者については届出の有無に関係しない」旨の説明を加えた。(20年調査より)
(変更) (質問5) 質問5 配偶者(夫又は妻)の有無 「配偶者」には、事実上夫婦として生活している が、婚姻届を提出していない場合も含みます。 1 配偶者あり 3 死別 4 離別	質問5 配偶者(夫又は妻)の有無 2 未婚 1 配偶者あり 3 死別 4 離別	記入者がわかりやすように「配 偶者については届出の有無に関 係しない」旨の説明を加えた。 (20年調査より)

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問 6) [質問 6 医療保険の加入状況 国民健康保険	質問6 医療保険の加入状況 保険証又は組合員証で確認してお答えくださ い。 国民健康保険 (1 市町村 (2 組合 被用者保険(政管健保、組合健保、共済組合等) (3 加入者本人 (4 家族(被扶養者)) (5 その他	社会保険庁が運営していた政府管掌健康保険(政管健保)が、平成20年10月より全国健康保険協会に移管され、全国健康保険協会管掌健康保険(協会けんぽ)に変更されたことに伴い「政管健保」を「協会けんぽ」に変更する。(21年調査より) 平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されたことに伴い、「5長寿医療制度(後期高齢者医療制度)」を追加する。(20年調査より)
(変更) (質問7) 質問7 公的年金・恩給の受給状況 受給している場合、受給している年金等のす べての番号に をつけてください。 なお、老齢年金のほか、障害年金、遺族年金 なども含めてお答えください。 は	質問7 公的年金・恩給の受給状況 受給している場合、受給している年金等の番 号すべてに をつけてください。 なお、老齢年金のほか、障害年金、遺族年金 も含めてお答えください。	すべての種類の公的年金を含めることが記入者にわかりやすいように「老齢年金のほか、障害年金、遺族年金なども含めて」と設問を変更する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問8) [質問8 乳幼児(小学校入学前)の保育状況 1 乳幼児の父母 5 幼稚園	質問8 乳幼児(小学校入学前)の保育状況	記入者にわかりやすいように設
日中に保育をしている方及び乳幼児が通所・ 通園している施設の すべての番号 に をつけてください。 2 乳幼児の祖父母 6 その他 3 認可保育所 4 認可外保育施設	日中に保育をしている方及び乳幼児が通所 ・通園している施設の番号すべてに をつけ てください。 1 乳幼児の24分 6 その他 3 認可保育所 4 認可外保育施設	問を変更する。
(変更)		
(質問9)		 記入者負担を考慮し、15歳未
質問9 手助けや見守りの要否 手助けや見守りを必要としていますか。 「本語では、「おおおい」 「本語では、「おおい」 「本語では、「おおい」 「本語でする」 「本語できる」 「本語でする」 「本語できる」 「本語でき	質問9 手助けや見守りの要否 手助けや見守りを必要としていますか。 1 必要としている 2 必要としていない (裏面の質問10へ)	満の者は本問で質問終了であることを明示する。
(変更)		
(補問9-1)		
補問9-1 日常生活の自立の状況 1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる	質問9-2 日常生活の自立の状況 1 何らかの障害等を有するが、日常生活 最もあてはまるもの1つに をつけてく はほぼ自立しており独力で外出できる ださい。	記入者がわかりやすいように設 問を変更する。
最もあてはまる状況の 番号1つ に をつけて 2 屋内での生活はおおむね自立している ください。 が、介助なしには外出できない	2 屋内で切生活はおおびね目立している が、介助なしには外出できない	
3 屋内での生活は何らかの介助を要し、 日中もベッド上での生活が主体である が座位を保つ	3 屋内での生活は何らかの介助を要し、 日中もペッド上での生活が主体である が座位を保つ	
4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食 事、着替において介助を要する	
\(\frac{1}{2}\)		

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (補問9-2 期間 1 1月未満 6 3~5年未満 7 5~10年未満 10~20年未満 3 3~6月未満 8 10~20年未満 4 6月~1年未満 9 20年以上 5 1~3年未満	質問9-3 期間 現在の自立状況になってからの期間をお 答えください。 1 1月未満 6 3~5年未満 2 1~3月未満 7 5~10年未満 3 3~6月未満 8 10~20年未満 4 6月~1年未満 9 20年以上 5 1~3年未満	記入者がわかりやすいように 「自立の状況」の質問番号を加え る。
(変更) (補問9-3) 補問9-3 要介護認定の有無	実際にサービスを受けているかどうかは 1 受けている 2 受けていない	記入対象が「40歳以上」であるのはこの質問のみであることを明確にするため、「 <u>この質問は</u> 40歳以上の方のみお答え〈ださい。」に変更する。
(変更) (補問9-4) 補問9-4 同別居の状況 主に手助けや見守りをしている方が同居している場合は、その方の世帯員番号(最上段の番号)を記入してください。 (世帯員番号)	質問9-5 同別居の状況 1 同居している 2 同居していない 主に手助けや見守りをしている方が同居している場合、その方の世帯員番号(最上段の番号)を記入してください。	誰の同別居かわかりやすいように選択肢の上に「主に手助けや見守りをしている方は」を加え、「1 同居している」場合は世帯員番号を記入するよう矢印で誘導する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
	T100 1 7 4	交叉柱山
(変更) (補問9 - 5)		
補問9-5 手助けや見守りが必要な方から みた続柄 1 配偶者 5 その他の親族 2 子 6 事業者(ホームヘルパー等) 3 子の配偶者 7 その他(ボランティア・近所 気柄をお答えください。 4 父母 の人など)	質問9-6 手助けや見守りが必要な方から 1 配偶者 5 その他の親族 みた続柄 2 子 6 事業者(ホームヘルパー等) 3 子の配偶者 7 その他(ボランティア・近所 4 父母 の人など)	記入者がわかりやすいように誰からみた続柄であるかの旨の説 明を加える。
(変更) (補問9 - 6)		
(新聞切り - 0) 補間9-6 手助けや見守りをしている方の性 1 男 2 女	質問9-4 性 1 男 2 女	誰の性であるかわかりやすいよ うに項目名を変更する。
 (新規) (質問10) 質問10 教育 「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は最終卒業学校(中途退学をした方はその前の学校)についてお答えください。 予備校などはここでいう学校には含めません。 3 在学したことがない 5 大学。 6 大学院 		学歴と所得及び健康状況との 関係を把握するため本項目を追 加する。
(変更) (質問11) 質問11 公的年金の加入状況 加入している 20歳以上、60歳未満の方は原則として加入しています。 加入していない 20歳未満で仕事をしていない方、すでに老齢年金又は退職年金を受給している方、受給資格があるが受給待ちの方などが該当します。 (変更) (如的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者 (第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない	質問10 公的年金の加入状況 加入している 20歳以上、60歳未満の方は原則として加入していま 加入していない 加入していない方、すでに老齢(退職)年金を受給している方、受給資格があるが受給 待ちの方などが該当します。 公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者 (第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない	記入者がわかりやすいように「加入していない」の説明を変更する。 公的年金に加入している場合の選択肢がわかりやすいように 矢印で誘導する。

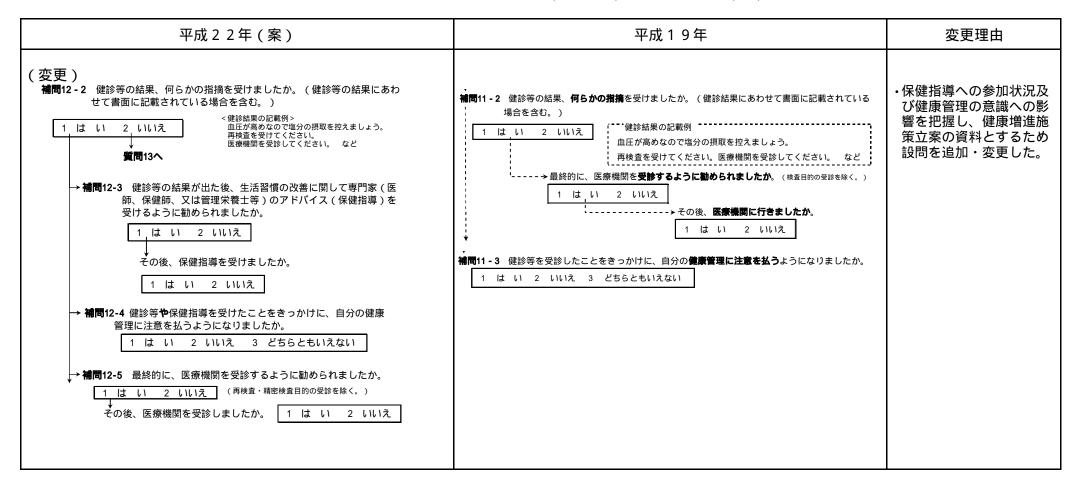
平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問13) [質問13	質問11 平成19年5月中の仕事の状況 収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」としてください。 無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児や介護のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。 なお、PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は「仕事なし」とします。 (質問16へ)	記入者がわかりやすいように仕事をしなかった方についての説明を加える。 記入漏れ防止のため、「仕事あり」「仕事なし」のそれぞれの選択肢へ矢印で誘導する。
 (一部削除及び変更) (質問14) 質問14 1週間の就業日数等 5月24日(月)~30日(日)の1週間に実際に仕事をした日数と時間の合計をお答えください。なお、複数の仕事をした場合は、すべての合計をお答えください。 は業時間) 1週間の残業も含めた総時間 	質問12 1週間の就業日数等 5月21日(月)~27日(日)の1週間に実際に 仕事をした日数と時間の合計をお答えください。また、1日の平均の片道通勤時間をお答えください。 なお、複数の仕事をした場合は、それらを 含めお答えください。 「は業日数」 1週間の仕事をした日数 日	16年、19年の調査結果により状況が把握できたため、また、新規に「質問10 教育」の項目が増えるため記入者負担を考慮し、「1日の平均片道通勤時間」を削除する。 複数の仕事をした場合の説明をわかりやすいように変更する。
(変更) (質問16) [質問16 仕事の内容(職業分類) 主な仕事について、お答えください。 [1 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的 08 生産工程従事者 09 輸送・機械運転従事者 09 輸送・機械運転従事者 10 建設・溝綿・包装等 05 サービス職業 従事者 11 連搬・溝綿・包装等 従事者 12 分類不能の職業 06 保安職業従事者	質問14 仕事の内容(職業分類) 主な仕事について、あてはまるもの1つに をつけてください。 01 専門的・技術的 07 農業作業者 職業従事者 08 林業作業者 02 管理的職業従事者 09 漁業作業者 03 事務従事者 10 運輸・通信従事者 04 販売従事者 11 生産工程・労務作業者 05 サービス職業 12 分類不能の職業 従事者 06 保安職業従事者	日本標準職業分類の第5回改訂に伴い、本項目を変更する。 他の調査事項の設問にあわせ、設問を変更する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問17) [質問17] [質問17] [ででである。	質問15 勤めか自営かの別 5,6,7 を選んだ方は下の質問15-1,15-2をお答えください。 1 自営業主(雇人なり) 2 自営業主(雇人なし) 3 家族従業者(自家営業の手伝い) 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者(契約期間が1年以上 又は雇用期間の定めのない者) のない者) 6 1月以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1月未満の契約の雇用者 8 内 職 9 その他 (質問17へ)	記入者がわかりやすいように、 設問を加え、5 ~ 7の場合の誘導 の説明を吹き出しにする。
(変更) (補問18-1) 補問18-1 どのような形で仕事をしたい	質問16-1 どのような形で仕事をしたいと	記入者がわかりやすいように、 現在仕事を探していない方も記 入対象である旨の説明を加え、 設問を変更する。
(変更) (補問18-3)(補問18-4) 補問18-3 仕事を探 相問18-4 仕事につ けない理由	質問16-3 仕事を 質問16-4 仕事につけ	記入者がわかりやすいように、 設問を変更する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(削除)		世帯員ごとに別居している子の 人数を把握してきたが、様々な 家族関係がある中、詳細な家族 関係が把握できていない状態で 家族機能を人数で判断すること は困難であるため本項目を削除 する。

平成22年(案)	平成 1 9 年	変更理由
(変更) 質問1 あなたの性・出生年月を記入してください。性・元号は、あてはまる番号 1つに をつけ、出生年月には数字を右づめで記入してください。 性 出生年月 1男 1 明治 3 昭和 2女 2 大正 4 平成	1 男 1 明治 3 昭和 年 月生 2 女 2 大正 4 平成	・調査事項であることを明確にするため、問番号と設問を追加した。 また、記載しやすいよう年月に枠を設けた。
(変更) 質問2 あなたは現在、病院や診療所に入院中、又は、介護保険施設に入所中ですか。 「1 は い 介護保険施設とは、介護療養型医療施設、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設をいいます。	質問1 あなたは病院や診り療所に入院、艾は、介護保険施設に入所中ですか。 1 は いーーーン質問4へ * 介護保険施設とは、介護療養型医療施設、介護を人保健施設及び介護を人福祉施設をいいます。	・調査時点が明確になるよう記載を追加した。・高齢者に配慮し文字を大きくするとともに、ふりがなを削除した。(以後すべての設問)
(変更) 補間3-1 それは、どのような症状ですか。 あてはまるすべて の症状名の番号にをつけてください。その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。 「ないないではないないでは、「ないないでは、「ないないでは、」」。 「ないないないでは、「ないないでは、「ないないでは、「ないないないでは、」」。 「ないないないないないないでは、「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	#問2-1 それは、 どのような症状 ですか。 あてはまるすべて の症状名の番号に をつけてください。 その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。	・「疾病、傷害及び死因分 類(2003年版)」準拠に 伴い変更した。
(変更) 補問4-1 どのような傷病(病気やけが)で通っていますか。 あてはまるすべて の傷病名の番号に をつけてください。その中で最も気になる傷病名の 番号を番号記入欄に記入してください。 「ストライン (現場) (現場) (現場) (現場) (現場) (現場) (現場) (現場)	補間3-1 どのような傷病 (病気やけが)で通っていますか。 あてはまるすべて の傷病名の番号に をつけてください。その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。 「 ス 路	・「疾病、傷害及び死因分 類(2003年版)」準拠に 伴い変更した。

平成22年(案)	平成 1 9 年	変更理由
(変更) 質問5 あなたは、 5月中 に病気やけが、予防で支払った費用(介護保険の利用者負担は含まれません。)はありましたか。支払った費用があった場合は、千円未満を 四拾五入 して 右づめ で記入してください。 (例:支払った費用が、1~499円の場合は「0千円」、500~1499円の場合は「1千円」になります。) 病気やけがで支払った費用	質問4 あなたは、5月中に病気やけが等で支払った費用(介護保険の利用者負担は含まれません。)はありましたか。支払った費用があった場合は、千円未満を四捨五入して記入してください。 (例:支払った費用が、1~499円の場合は「0千円」、500~1499円の場合は「1千円」になります。) 病気やけがで支払った費用	・病気の予防のために支 払った費用の範囲を明な にするため、記載する を人間ドック、接種の 保健指導、 とした。 ・病気の予防のために支 払い予防の全体を把 するため、 ・病気のを があるため、 を 機関以外も を とした。
(変更) 補間12-1 どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるすべての番号にをつけてください。また、その中で最後に受けた健診等の番号についても番号記入欄に記入してください。 1-3の各機関が指示する医療機関で受けた場合は、それぞれの機関の番号にをつけてください。 1 市区町村が実施した健診 2 勤め先、又は健康保険組合等が実施した健診 3 学校が実施した健診 4 人間ドック(上記1~3以外の健診で行うもの) 5 その他 最後に受けた健診等→	 補間11-1 どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるすべての番号にをつけてください。また、直近の健診の番号についても番号記入欄に記入してください。 1 市区町村で行う健診(医療機関で行う場合も含む) 2 職場における健診 3 学校における健診 4 人間ドック(市区町村や職場など上記1~3以外の健診で行うもの) 5 その他 直近の健診・・・・・・・ 重近の健診・・・・・・・ 番	・回答肢を記入者がよりわ かりやすく変更した。



平成22年(案)	平成 1 9 年	変更理由
(変更) 質問13、補問13 - 1のがん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含みます。 質問13 あなたは過去1年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に をつけてください。 1 胃がん検診(例のレントゲン撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイパースコープ)による撮影など) 2 肺がん検診(関のレントゲン撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイパースコープ)による撮影など) 3 子宮がん検診(子宮の細胞診検査など) 4 乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波エコー検査など) 5 大腸がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波エコー検査など) 6 その他(7 受けていない) 【補間13 - 1 は女性の方のみお答えください。】 補間13 - 1 あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に をつけてください。 1 子宮がん検診(子宮の細胞診検査など) 2 乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波エコー検査など) 3 1~2は受けていない	質問12 あなたは過去 1 年間に、 がん検診 を受けましたか。 あてはまるすべて の番号に をつけてください。	・選択検診のでは、するとはでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問1) 質問1 この調査票に回答する方はどなたですか。 あてはまる番号1つに をつけてください。 1 介護が必要な者(本人) 2 主に介護をしている者 その他の者(1,2以外) 3 配偶者 4 子 5 子の配偶者 6 父母 7 その他	 質問1 この調査票に回答する方はどなたですか。 あてはまる番号に をつけてください。 1 介護が必要な者(本人) 2 主に介護をしている者 その他の者(1、2以外) 3 配偶者 4 子 5 子の配偶者 6 父母 7 その他 	選択する番号は1つであること がわかりやすいように設問を変更 する。
(変更) (質問2) 質問2 介護が必要な方の性と出生年月をお答えください。 あてはまる番号1つ に をつけ、出生年月には数字を 右づめ で記入してください。 (1)性 (2)出生年月 1 男 2 女 1 明治 2 大正 3 昭和 年 月	質問2 介護が必要な方の性と出生年月をお答えください。 あてはまる番号に をつけ、出生年月には数字を右づめで記入してください。 (1)性 (2) 出 生 年 月 1 男 2 女 1 明治 2 大正 3 昭和 年 月	選択する番号は1つであることがわかりやすいように設問を変更する。 年月の記入箇所がわかりやすいように枠を設ける。
(変更) (質問3) 質問3 調査日現在の要介護度の状況と1年前の要介護度の状況をお答えください。 あてはまる番号1つに をつけてください。 介護保険被保険者証等を参考に記入してください。 現 在(平成22年6月) 1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 1年前(平成21年6月) 01 要支援1 02 要支援2 03 要介護1 04 要介護2 05 要介護3 06 要介護4 07 要介護5 08 自立と認定された 09 認定を申請中であった 10 認定を申請していなかった	質問3 調査日現在の要介護度の状況と1年前の要介護度の状況をお答えください。 あてはまる番号に をつけてください。 * 介護保険被保険者証等を参考に記入してください。 現在(平成19年6月) 1 経過的要介護 2 要支援1 3 要支援2 4 要介護1 5 要介護2 6 要介護3 7 要介護4 8 要介護5 1年前(平成18年6月) 01 経過的要介護(要支援) 02 要支援1 03 要支援2 04 要介護1 05 要介護2 06 要介護3 07 要介護4 08 要介護5 09 自立と認定された 10 認定を申請中であった 11 認定を申請していなかった	選択する番号は1つであることがわかりやすいように設問を変更する。 平成18年4月の介護保険法の改正に伴い変更になった要介護度の区分について、「経過的要介護」の該当者が存在する期間が経過したため、「現在」の選択肢のうち「1 経過的要介護」、「1年前」の選択肢のうち「01 経過的要介護(要支援)」の選択肢を削除する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
平成22年(案) (変更) (質問4) 質問4 介護が必要となった原因は何ですか。 あてはまるすべての番号に をつけ、かつ、その中で主な原因である番号1つを主な原因欄に記入してください。 O1 脳血管疾患(脳卒中)… 脳出血、脳こうそく、くも膜下出血、その他の脳血管疾患及びその後遺症など O2 心疾患(心臓病)狭心症、心筋こうそく、不整脈、心筋炎、その他の心臓疾患 O3 悪性新生物(がん)… すべての部位のがん(白血病を含む)及び肉腫 O4 呼吸器疾患肺気腫、肺炎、気管支炎、胸膜疾患など O5 関節疾患 開節リウマチ、何らかの原因による関節炎、関節症、腰痛症 O6 認 知 症 認知症(アルツハイマー病等) O7 パーキンソン病 O8 糖 尿 病 糖尿病及び糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症などの合併症	質問4 介護が必要となった原因は何ですか。 あてはまる番号すべてに をつけ、かつ、その中で主な原因である番号 1 つを主な原因欄に記入してください。 01 脳血管疾患(脳卒中) … 脳出血、脳こうそく、〈も膜下出血、その他の脳血管疾患及びその後遺症など 02 心疾患(心臓病) … 狭心症、心筋こうそく、不整脈、心筋炎、その他の心臓疾患 03 悪性新生物(がん) … すべての部位のがん(白血病を含む)及び肉腫 04 呼吸器疾患 肺気腫、肺炎、気管支炎、胸膜疾患など 05 関節疾患 関節リウマチ、何らかの原因による関節炎、関節症、腰痛症 06 認知症 認知症(アルツハイマー病等) 07 パーキンソン病 08 糖尿病 糖尿病及び糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症などの合併症	変更理由 複数回答で番号に をつけた 中で主なもの1つを選ぶ旨がわ かりやすいように説明を加え、矢 印で誘導する。
	08 糖尿病	

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更)(質問6)質問6 介護保険によるサービスを受けていない理由は何ですか。あてはまるすべての番号に をつけてください。	質問6 介護保険によるサービスを受けていない理由は何ですか。 あてはまる番号すべてに をつけてください。	記入者がわかりやすいように設問を変更し、選択肢が見やすい ように罫線を削除する。
1 家族介護でなんとかやっていける 2 介護が必要な者(本人)でなんとかやっていける 3 他人を家に入れたくない 4 外出するのが大変 5 どのようなサービスがあるかわからない 6 サービスを受ける手続きがわからない 7 利用者負担が払えない 8 受けたいサービスがない 9 その他 具体的に記入してください	1 家族介護でなんとかやっていける 2 介護が必要な者(本人)でなんとかやっていける 3 他人を家に入れたくない 4 外出するのが大変 5 どのようなサービスがあるかわからない 6 サービスを受ける手続きがわからない 7 利用者負担が払えない 8 受けたいサービスがない 9 その他 具体的に記入してください(

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問7) 質問7 主に介護をしている方の1日の平均的な介護時間はどのくらいですか。 あてはまる番号1つに をつけてください。 介護の頻度が毎日でなく、数日に1度の場合は「5 その他」に をつけてください。 1 ほとんど終日 2 半日程度 3 2~3時間程度 4 必要なときに手をかす程度 5 その他	質問7 主に介護をしている方の1日の平均的な介護時間はどのくらいですか。 あてはまる番号に をつけてください。 * 介護時間の程度が毎日でなく、数日に1度の場合は「5 その他」に をつけてください。 1 ほとんど終日 2 半日程度 3 2~3時間程度 4 必要なときに手をかす程度 5 その他	記入者がわかりやすいように「5 その他」の場合の説明を変更す る。
(変更) (質問8(1)) 質問8 その他の介護者(主に介護をしている方以外で介護をしている方)がいる場合は人数を記入し、その状況をお答えください。 ただし、事業者(ホームヘルパー等)は除きます。 (1)人 数 その他の介護者 人	質問8 その他の介護者(主に介護をしている方以外で介護をしている方)がいる場合、その状況をお答えください。 ただし、事業者(ホームヘルパー等)は除きます。 (1)人数 その他の介護者 人	記入者がわかりやすいように設問を変更し、記入箇所がわかり やすいように枠を設ける。
(変更) (質問8(2)) このうち介護をしている時間が最も長い方について、以下の(2)~(6)にお答えください。 それぞれあてはまる番号1つに をつけてください。 1 同居している (2)同別居の 状況 同居していない 居住場所をお答えください。 3 同一市区町村 4 その他の地域	このうち介護をしている時間が最も長い方の状況を記入してください。 (2)同別居 1 同居している者 別居している場合は居住場所をお答えください (2 同一家屋・敷地 3 同一市区町村 4 その他の地域	記入者がわかりやすいように設問を変更する。 世帯票にあわせて「別居している」の場合は「同居していない」に変更し、記入漏れのないように居住場所の位置を変えて誘導する。

平成22年(案)		平成19年 変更理由
(変更) (質問8(5)) (5)介護が必要 な方(本人)から みた続柄 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5	その他の親族 6 その他	(5)要介護者 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 その他 との続柄 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 その他 やすいように項目名を変更する。
(変更) (質問9) (質問9) (質問9) (でする) (でがなる) (でがなる)	事業者 家族等による 介護 上に介護 七に介護 七に介護 七のの者	質問9 次のような介護を、どなたがしていますか。 あてはまる欄すべてに をつけてください。 * その介護について「事業者(ホームヘルパー等)」「主に介護する者」「その他の者」の複数から受けている場合は、あてはまる欄すべてに をつけてください。 本典者

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問10) 質問10 5月中 に事業者に支払った居宅サービスの自己負担額を 右づめ で記入してください。 「質問5で回答した居宅サービスの費用についてお答えください。保管しているサービスの領収証(書)を参考に記入してください。	質問10 5月中に事業者に支払った居宅サービスの自己負担額を記入してください。 * 質問5で回答した居宅サービスの費用についてお答えください。 円 * 保管しているサービスの領収証(書)を参考に記入してください。	記入する金額が桁ずれしない よう右づめすることを設問に加 え、記入する枠に単位を記載す る。
(変更) (質問11) 質問11 介護が必要な方が65歳以上の場合、介護保険料所得段階をお答えください。 介護保険料額決定通知書に記載されている所得段階区分と同じ段階に をつけてください。 ただし、第1段階 - 第3段階以外の方については、4か5のうち、あてはまる番号に をつけてください。 1 第1段階 (生活保護受給者、又は老齢福祉年金受給者であって世帯の全員が市町村民税非課税) 2 第2段階(介護が必要な者の昨年1年間の公的年金等収入金額と合計所得金額の合計が80万円以下であって世帯の全員が市町村民税非課税) 3 第3段階(世帯の全員が市町村民税非課税であって、上記1,2以外) 4 介護が必要な者は市町村民税が非課税であって、世帯に課税されている者がいる 5 介護が必要な者は市町村民税を課税されている	質問11 介護が必要な方が65歳以上の場合、介護保険料所得段階をお答えください。 * 介護保険料額決定通知書に記載されている所得段階区分と同じ番号に をつけてください。 1 第1段階 2 第2段階 3 第3段階 4 第4段階 5 第5段階 6 第6段階以上	21年4月からの第4期介護保険 事業計画による、介護保険料の 所得段階区分の変更に伴い本 項目を変更する。
(変更) (質問12) 質問12 5月中の介護費用についてお答えください。 あてはまるすべての番号に をつけてください。 1 介護が必要な者(あるいは配偶者)の収入を充てた。	質問12 5月中の介護費用についてお答えください。 あてはまる番号 すべてに をつけてください。 1 介護が必要な者(あるいは配偶者)の収入を充てた。	記入者がわかりやすいように設 問を変更する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
	世帯区分 1 単身赴任者の世帯 世帯区分 2 単身赴任者を送り出している世帯 3 その他の世帯	世帯票から代替可能であり、 記入者負担軽減から削除する。
(変更) (質問1) (質問1) (質問1) (質問1) (性・元号はあてはまる番号 1つにOをつけ、出生年月には数字を右つめて 記入してください。 性 出 生 年 月 1 男 1 明治 3 昭和	(1) (2) (1) 性 1 男 2 女 1明治 2大記 3 昭和 4平成	調査方法を他計方式から自計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) (質問2) (質問2) (可成21年1月~12月) (に何らかの所得を受け取りましたか。 受け取った所得の種類にとに 金額を記入してください。 (ボーナス)を合わせた別込み金額を記入してください。アルバイト等による所属も含みます。 (参考を別) 課意徴収測 [原本又は等し] 絶与眼解	(3)雇用者所得 1 デガウ	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) 事業所得 12 事業所得 12 「古田 中 田 中 田 中 田 中 田 中 田 中 田 中 田 田 田 田 田 田	(4)事業所得2 デガロ	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) 農耕・畜産 所得 03 富 キ 宮 + - 西郷入豊、福心人の資金などの必要経費を輸 しろいた所根金額を配入してください。 「参替金額」福定申告者 [控]	(5) (5) 農耕・畜産所得 3 ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) ************************************	(6) 家内労働所得 4	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) 財産所得 (変更) 財産所得 (変更) 財産所得 (変更) 財産所得 (変更) (変更) (変更) (変更) (変更) (の要別の表験であず。 (学者会別)確定申告者 (変更) (変更) (変更の表験であず。 (学者会別)を必要します。 (学者会別)を必要します。 (学者会別)を必要しませませます。 (学者会別)を必要しませませませませませます。 (学者会別)を必要しませませませませませませませませませませませませませませませませませませませ	(7)財産所得5	調査方法を他計方式から自計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) 大的年金・開始による所得 大の年金・開始による所得 国民年金・高雄年金、厚生年金(厚生年金 国民年金・福祉年金、原始などからの受取開を記入してください。 (参書編集) 年金振込通知書など 1支払婚(2か月)分しか受給部がつからないときは、その金様を配入してください。	(8) (8) 公的年金·恩給 6	調査方法を他計方式から自計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) <u>公的年金・開始以外の</u> 十分保障給付金による所得 雇用保険法の失業等的は、船員保険法の失業等的は、船員保険法の失業等的は、船員保険法の失業等的は、企業保険金の受取場(電児休業的は、介護休業的できます。)を配入してください。 「参考審集」雇用保険受給資格者配	(9) (9) 雇用保険7 ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。

	平成22年(案)	平成19年	変更理由
(新規)	児童手当等		子育て支援対策等の基礎資料とするため追加した。
(変更)	その他の 社会保障給付金 09 エーカー カー 大田 中部保護法による扶助、医療保険による傷 病子当金・出産子当金、労働者災害補償保験 などその他法令に基づく支触金の受取額を配 入してください	(10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10)	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更)		(11) 任 送 り 3 デ円	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更)	企業年金・ 個人年金等による所得 企業年金・ 位人年金等 11 万円 「一、正義会社などの個人年金及び年金融協会、 国民年金基金、農業者年金などからの受取機 を配入してください。 単生年金基金からの年金は、「公的年金・ 現象に配入してください。	(12) 企業年金· 10	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更)	その他の所得 たの他の所得 12 方円 た別、見無金などの受取額を配入してください。 ・1 通常金宝くじの当せん金などは含みません。	(13) (13) その他の所得 11	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問3) (質問3) 事があり (変更) (質問3) 事があり 「はまる番号にOをつけ、1にOをつけた方は金額も配入してください。 「おります。 まではまる番号にOをつけた方は金額も配入してください。」 まで、	(14) 所得税 (14) 所得税 (14) 所得税 (14) 所得税 (14) 所得税 (14) 万 (14) 万 (14) 万 (14)	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) (質問4) (質問4) あてはまる番号に Oをつけ、 1 にOをつけた方は金額も配入してください。 1 課税あり ・ ま ま + - 金線の千円未離は四絶五入い 右づめで配入してください。 2 課税なし	(15)住民税 ¹ 所得割 3 課税なし 2 均等割のみ 	調査方法を他計方式から自計方式へ変更することに伴い、本項目を変更する。 「所得割」「均等割のみ」は、記入者負担軽減の観点から削除する。

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問5) 平成21年分の社会保険料の支払いはありましたか。 医療保険(短期接金)・年金保険(長期接金)・介護保険・その他(雇用保険等)のうち、ひとつでも支払いのあったときには、1に0をつけ、支払った金額も配入してください。ひとつも支払いがなかったときには、2に0をつけてください。 1 支払いあり 2 支払いなし	(16)	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
●昨年1年間に支払った社会保険料の機関を記入してください。 配入のしかだは、11ペーツの上段「触録」より 「能与所得者の方」又は「能与所得者以外の方」から強んで配入してください。 社会保険料の総額 万 干円 全額の千円未開は四値立入 し、もつめで収入してください。 手 百 + 一 ●支払った保険料の内配を記入してください。 配入のしかだは、11ペーツの下段「内訳」より 「他与所得者の方」又は「絶与所得者以外の方」から 強んで記入してください。 内 訳	(16) 社会保険料 (①~②の合計) ① 医療保険 ② 年金保険 ③ 介護保険 ④ その他 (雇用保険等)	
医療保険 (短期掛金) 万 〒円 年金保険 (長期掛金) 万 〒円		
介護保険 万 干円 その他 (雇用保険等) 万 干円 ・ 百 十 一 ・ 百 十 ー ・ 台域の千円未被は四緒五入し、右づめで記入してください。		

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問6) (質問6) (質問6) 本ではまる番号にOをつけ、 1にOをつけた方は金額も記入してください。 1 課税あり ま 目 + - 金額の千円未搬は四倍五入い、右つめで記入してください。 2 課税なし	(17) (17) 固定資産税 (17) 固定資産税 (事業関係分を除く。) (17)	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
(変更) (質問7) 平成21年分の企業年金・個人年金等の掛金を 支払いましたか。	(18)	調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
 為ては求る番号にOをつけ、 ↑ (このをつけた方は金が)もまご入してください。 1 支払いあり	企業年金・ (18)個人年金等 「大払いあり2支払いなし 「カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

平成22年(案)	平成19年	変更理由
(変更) (質問8) (質問8) (質問8) 現在の公らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。		調査方法を他計方式から自 計方式へ変更することに伴い、 本項目を変更する。
	(19) 生活意識の状況 (現在の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか。)	
為では家名書号 1 つにのおつけてください。	1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 普通 4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある	
1 大変苦しい		
2 やや苦しい		
3 普 通		
4 ややゆとりがある		
5 人変ゆとりがある		

平成22年国民生活基礎調查(貯蓄票) 新旧対照表(案)

